

## 平成26年度 同好会事業報告

道徳 同好会 世話係名 湯本 和子 会長名 堀川 博光

月 日	実施した事業内容	参加人員
5月2日	発足会、活動計画立案	5
6月1日	長野県道徳教育学会役員会①	2
9月3日	授業公開（高山小 通崎先生）	5
11月7日	長野県道徳教育学会第47回更埴研究大会	4
11月7日	長野県道徳教育学会役員会②	2
1月25日	長野県道徳教育学会役員会③	2
2月	同好会のまとめ・反省会（予定）	7（予定）

上高井道徳同好会七名は、日々の道徳教育の実践を積み重ねながら、お互いの研鑽を深めて参りました。県道徳教育学会に提出した支部代表レポート作成に向けて、九月三日に行われた公開授業を紹介いたします。

高山小学校3学年 授業者 通崎 昌彦教諭

主題名「ともだちのいいところを見つけよう」

資料名「げきのはっぴょう」 2－（3）信頼友情

出典：わたしたちのみち 3（信州教育出版社）

主人公「けんちゃん」は、クラスのお楽しみ会で発表する班の劇の練習で大きな声を出せないことを、同じ班の正君やしんちゃんに責められてしまいます。翌日、劇に使うお面作りで正君やしんちゃんが困っていると、絵の得意なけんちゃんが二人分のお面をさっと描き上げ、手渡します。絵の上手さを認められたけんちゃんは、小道具作りの責任者を任され、正君に、

「せりふだって、言い方は上手なんだよな。もう少し大きな声で言える？」と聞かれて、けんちゃんは、

「うん、ぼく、れんしゅうしてみる。」

と今までよりも大きな声で返しました。

資料を読んだ後に、通崎先生は子どもたちから出された、わかったことや思ったことを、丁寧に取り上げていました。その中から、本時のねらいにつながる核となる発言も出てきました。中心発問の「『うん、ぼく、れんしゅうしてみる。』と言った時のけんちゃんはどんな気持ちだったのだろう」という問いには、自分の友達との関わりや受けた励ましから、けんちゃんに寄り添って考えている学びの姿がありました。春にクラス替えをして、新たな仲間で学級集団作りを進める中で、道徳の授業を通して、友だちとの信頼や協力についての価値を考える機会にしたいという願いで実践を重ねていく通崎学級から多くのことを学ばせて頂きました。

(同好会長 堀川 博光)